

淀川水系流域委員会殿

2007. 10. 8

佐川克弘

もう一つ有り得る「異常渇水対策」

私は寝屋川導水事業の実績について、添付別紙の通り近畿地方整備局に問い合わせをしました。

寝屋川導水事業は、寝屋川と（土佐堀川、堂島川など）大阪市内の河川を浄化するため、淀川と寝屋川とが最も接近している部分に新水路を開削し淀川の余剰水を最大 $20\text{ m}^3/\text{S}$ を限度として寝屋川へ導入するもので、1970年に完成しています。

私は、H17/1月貴委員会の意見書3「琵琶湖水位操作についての意見書」を河川管理者が真摯に検討、実施することが“王道”だと思いますが、次善の策が河川維持流量のカットだと考えております。

寝屋川導水事業は、今まで「異常渇水対策」に関連して検討対象に取り上げられたことがなかったと思いますが、これも一種の河川維持流量と言えと考えます。河川管理者の過去実績の開示を待って、「異常渇水対策」の選択肢の一つとして検討することを要請します。

以上

近畿地方整備局殿

2007. 10. 5

佐川克弘

寝屋川導水事業・導入実績の問い合わせ

平素は国民のために河川整備に尽力されていることに深謝いたします。

さて首記の件、ご多忙中恐縮ですがご教示くださるようお願いいたします。

記

- 1) 期間=H5～14の10年間(暦年)
- 2) 実績は月別平均の一日当たり導入量。単位は m^3/S 。
なおお手数をかけますが、閏年=2月が29日の年は、その旨注記して下さい。(横着なお願いで、ごめんなさい。)
- 3) 住道大橋におけるBOD。単位は mg/L 。もし毎月測定していないのなら測定した日のデータで結構です。ただしその日の導水量も同時に示して下さい。(当然測定した年月日を明記してください)

なお初歩的な質問ですが、導水している水は淀川の余剰水で、最大 $20 m^3/S$ を限度としていると理解しておりますが、間違いありませんか？

以上